

# シロイチモジヨトウ情報第1号 (ダイズ・キャベツ)

令和5年8月1日  
愛知県農業総合試験場  
環境基盤研究部病害虫防除室

## フェロモントラップ誘殺数が増加しています！

### 1 発生状況

フェロモントラップにおける7月第1半旬から第5半旬までの総誘殺数が、長久手市のほ場で80頭（平年19.7頭、前年29頭）と過去10年間と比較して最も高い状況です。西尾市のダイズほ場では400頭（平年153.8頭、前年255頭）と過去4年間と比較して最も高く、田原市のキャベツほ場では569頭（平年487.8頭、前年636頭）と過去4年間と比較して2番目に高い状況です（図1）。

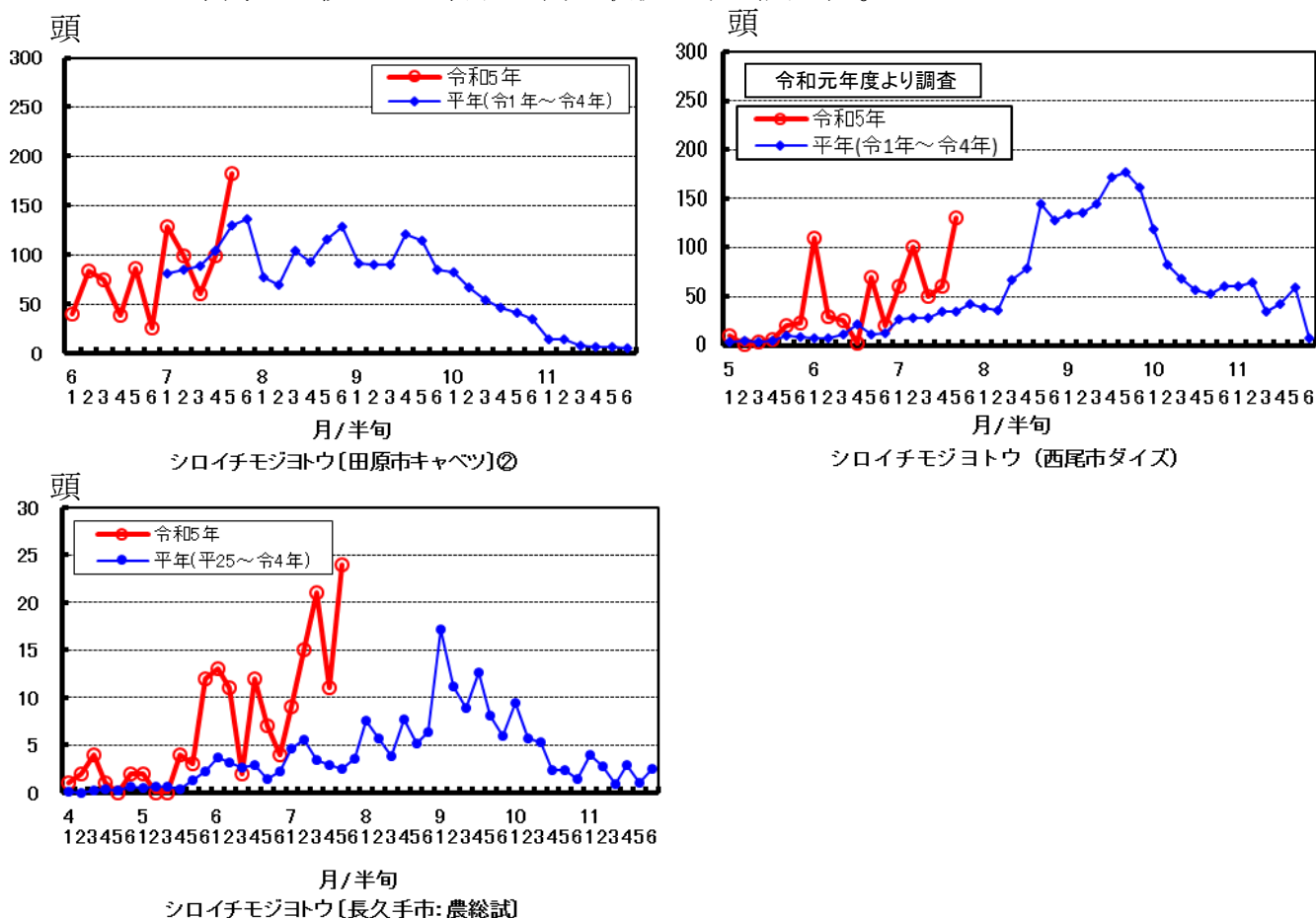


図1 フェロモントラップにおけるシロイチモジヨトウの誘殺数

### 2 今後の見込み

名古屋地方气象台7月27日の1か月予報によれば、向こう1か月の気温は高いと予想されており、本種の発生に好適な条件であり、今後、発生量が増加する可能性があります。ほ場を観察し、幼虫を確認したら表を参考に防除しましょう。

薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同じIRACコードの薬剤は連用しないようにしましょう。



図2 成虫



図3 老齢幼虫



図4 ダイズに寄生するシロイチモジヨトウ

表 シロイチモジヨトウに対する主な防除薬剤（散布）

作物名	薬剤名	成分名	使用時期	本剤の使用回数	IRACコード
キャベツ	ベネビア OD	シアントラニリプロール	収穫前日まで	3回以内	28
	コテツフロアブル	クロルフェナピル	収穫前日まで	2回以内	13
だいず	プレオフロアブル	ピリダリル	収穫7日前まで	2回以内	UN

IRACコードは殺虫剤の作用機構による分類を示す。

IRACコードの詳細 [https://www.jcpa.or.jp/assets/file/labo/mechanism/mechanism\\_irac02.pdf](https://www.jcpa.or.jp/assets/file/labo/mechanism/mechanism_irac02.pdf) を参照する。

薬剤散布の際は、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努める。